

令和3年度

里浦小学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

豊かな心を持ち、ともによりよい生き方を求め行動する子どもの育成
 ①楽しさと充実感を味わい、「確かな学力」を身に付ける授業の実践
 ②自ら学び、主体的に考え、行動する力を養う指導内容や指導方法の工夫・改善

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長 早川和美 教頭 遠藤比呂誌
前田 美里		教務主任 前田美里 研修主任 田中優子
		低学年 三栖亜里紗 中学年 藤田拓弥
		高学年 中野克哉

校長

早川 和美



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識技能が身に付いていたり、与えられた課題にも真面目に取り組めたりできる児童が多い。 ●文章を正しく読み取ることや身に付いている知識等を関連付けることが課題である。	・基礎的・基本的な知識技能を確実に身に付け、他の学習や生活場面で活用することができる。 ・目標を持って学習や読書に取り組み、自分の課題を進んで解決しようとすることができる。	・里浦スタンダードを定着させ、落ち着いた環境の中で学習に集中できるようにする。 ・基礎的・基本的な知識技能の定着を図るため、朝の学習の時間や単元の前・中・後に学習プリント等を効果的に活用する。 ・TTを効果的に活用する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の意見を発表したり、話し手の意見をしっかりと聞いたりすることができる児童が多い。 ●複数の資料の中から必要な情報を取り入れたり、根拠を基に自分の考えをまとめたりすることが課題である。	・常に相手を意識し、話し合いながら、課題を解決しようとするすることができる。 ・自分の意見を正確に伝えるために、根拠や理由を明らかにしながら、話したり書いたりして表現することができる。	・ペア学習やグループ学習を効果的に設定し、ホワイトボードやICTを活用して発表や話し合いの機会を設ける。 ・作文読本の活用や作文指導を適宜行い、自分の考えをまとめたり、思いを伝えたりするなどの機会を設ける。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題には真面目に取り組む、最後までやり遂げる児童が多い。 ●難しいことや不得意なことに対して、自分で計画を立てて、克服しようとすることに課題がある。	・自分の学習の課題を明確に持ち、課題を解決できるよう計画を立て、取り組むことができる。 ・互いを認め合い、励まし合って共に成長することができる。	・ゴールを明確にし、常に学習のめあてを意識した授業を展開し、振り返りの視点を示すことによって、自らの学びを把握できるようにする。 ・学年通信や教室掲示等で、児童の学習の姿を伝え、家庭も含めて児童の頑張りを認め合える環境をつくる。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

